

出炭狂ほんの石炭資本

北炭夕張で大変災

二日午後六時三〇分頃、北海道上区右方面松採炭現場が道庁管内の北炭夕張鉱業所第一鉱でガス爆発が起り、死者六名、重傷七名という大惨事となった。絶対に繰り返してはならないはずの三池の大変災が一年半もたたぬ今日、再び雪の北海道に引き起こされたのだ。三池で多数の労働者を犠牲にし、傷つけた資本の貪欲な黒い手は、労働者の血潮の未だ乾かぬうちに、再度、北炭夕張の多くの仲間の生命を掠奪してしまつたのだ。

保安サボは明らか
夕張鉱業所は一鉱、二鉱、清水沢の三鉱にわたり、二鉱は昭和三年一月一日ガス爆発で死者四二名、二八名の重傷者を出して以来、今度、事故の発生した一鉱は最上区、千歳区、北上区三区にわたる。



28日市内三カ所で行われた北炭夕張大爆発の犠牲者への救援カンパ

このように保安監督局の指摘も労働者の保安に対する要求も全く無視され、労働者は常に一触即発の危険な状態のなかで労働を強制され、会社は一人の生命より一トンの炭を、出炭向上に懸命となつた。このことは、三六年二月

再びくり返えされた ガス爆発で死者61名

より三九年二月までの三年間に一人当り生産は二トンから三三三トンに引き上げられ、事故のおきた一坑では四二二トンに達したことがわかる。

三池でカンパ活動
三池では、夕張でガス爆発の報に接し、りつ然としたことも、統一斗争に決起したのだ。

港務所分離の攻撃
— 新居浜港・関門港調査 —
三井鉱山は、いよいよ四月一日より港務所を分離する合理化が必至となつた事態をむかへ、去る二月二十六日より一九日まで港務支部山内労働部長、内田・上田両委員による港務労働者の実地調査活動を行つてきた。

四国新居浜港は、住友別子鉱山から分離して公有港になったが、実際は住友私有港と変らず、従業員も別子労働者に組織されてしまつた。

短時間の調査では、会社は、港開放することによって、もうけは多くなり、必要経費は市町村の税金でまかなふ、そして組織を分断することによって組合の力を弱めよう、徹底的にもうけを削ぐという、徹底的にもうけを削ぐという目的の合理化がなされてしまつた。

張 たたかいを地域に みんなて助けよう

主 淀鋼の統一にまなぶ
昨年一月二五日、淀鋼では待望の統一を勝ちとりました。労働者をあくまで搾取し、人間としての権利を認めないため「分裂攻撃」に断固たる抵抗斗争をつづけた淀鋼の仲間たちのよきこぶがごんものか、三池でも想像できます。

その第一線にたた。第二に、淀川べりにある大阪製鋼や中山鋼業との三者共闘を完全にし上げるべきだ。第三に中山鋼業の場合、はい、未組織だったのをながいあいだ組織化(鉄鋼労働同盟)に協力した経過があること。地域斗争の意味はなにか「地域斗争」ということば、たれてもくちにはけません。しかし淀鋼では実行したのです。

第一組合の活動がごんない大切であるか、淀鋼の経験はおしえてくれました。大牟田・荒尾にも、各産業界にわたる労働者が二万数千人いますが三池労働者一人ひとりの力も、反動運動をくはせたい。

炭労働抗議スト
二月三日、北炭夕張労働者は会社の責任を追求する二五日の二四時間抗議ストと公闘交を決定した。炭労働も同日、拡大中闘交を闘催し、政府の石炭政策は殺人行為であり、政府・北炭資本の責任を追求する意味の声明を発表し、炭労働支部に、抗議行動と生命を守る闘いの強化を指令した。この指令に基き、各支部は二五日時間外職場集会を開き、三月一日の夕張支部の合同葬の日は一時間五分の時限ストを行なつた。

「地域斗争」ということば、たれてもくちにはけません。しかし淀鋼では実行したのです。

第一組合の活動がごんない大切であるか、淀鋼の経験はおしえてくれました。

第一組合の活動がごんない大切であるか、淀鋼の経験はおしえてくれました。

第一組合の活動がごんない大切であるか、淀鋼の経験はおしえてくれました。

企業内の抵抗斗争の正しい意義の確認がないと、そのような地域斗争にまで発展することはむづかしいわけであり、むしろこの地域斗争のもつ具体的意義があるといえます。

この二日午前十時三〇分より三川坑に於いて、三池大爆発の遺族をはじめ、組合関係、会社関係の代表者を集めて、坑口前につくられた、災害記念会館、平和像の落成式が行なわれました。この施設は、昨年遺族の期束手当座り込み斗争のあり、遺族を守る要求のいかに、会社に要求して、延命公闘内につくつたもの、われわれはこの度の災害記念施設を、亡き仲間たちへの

災害記念館落成
二月二日午前十時三〇分より三川坑に於いて、三池大爆発の遺族をはじめ、組合関係、会社関係の代表者を集めて、坑口前につくられた、災害記念会館、平和像の落成式が行なわれました。



災害記念館落成